

HSK

どろじん

第 27 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H.S.K通巻212号

発行日 平成元年12月10日
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北35条西5丁目1-10
AMS南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市北区北13条西1丁目
神原義郎

平成元年 初冬号

第9回

腎バンク登録者拡大全国一斉街頭キャンペーン報告



<札幌>



<夕張>

北海道腎臓病患者連絡協議会

ぼのぼのの人生

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫



いうより自己主張中心の教育がかつての忍従教育という抑圧生活と離れて、反発となって今日の「礼儀」の乱れという現象になってあらわれたのではないかと思います。

この頃の若い者達は「お辞儀一つできない」と嘆くお年寄りが多いです。しかしそのお年寄りだつて若い頃には「お年寄り」にこれと同じことを言われたのではないかなあ…と思います。ですがお辞儀だけではなく礼儀一般についてもこの頃の乱れ方は少々度が過ぎていようです。もう戦後ではない…と言われながら大分年月を経ましたが、戦後の教育で個人中心主義、と

自分の行為によって他人に迷惑をかける…昔も今も変わらぬ鉄則です。自分一人では世の中を暮らしていくことは出来ず、直接間接を問わず、他人の影響をうけ、他人に影響を与えながら生活しているという現実、社会生活的動物である人間…これだつて、今も昔も変わりません。こんなことはだれだつて百も承知なんです。それなのにどうしてこうも世の中がぎすぎすしているのでしょう

うか。

どうも昔のぼのぼのの人生が遠くかすんでしまったようです。ちよつと話は変わりますが、たしか誰やらの歌で「嬉しがらせて泣かせて、泣いて…」という文句がありました。人の心の奥深く沁みこんでくる話しには、話しそのものの内容も、たしかに大事なことに違いありませんが、その話し方というよりは、相手に聞く気を持たせる方に大切な要素がかくされているような気がします。

人間誰しも感情の動物です。嬉しがらせるようなことを言われて、悪い気をするものは居ません。私の母は無学文盲でしたが「犬だつて、猫だつて気に入つたことをしてやればしつぽも振るし、のども鳴らしてじやれついでくるもの、まして人間は嬉しがるといふことをされて気が悪くするものはありません。言葉にはもどがかからないんだからほめることです。この世の中にはほめられて怒る人は一人もいません。」

私がかつてのN社の現役時代に課長に昇格したことを知らせた手紙の返事の中で、ある人がいましめの訓おしなを送ってくれました。たどたどしい鉛筆の筆跡は今も私の心のなかにほのぼのと昨日のように甦よみがってくるのです。人の考え方、見方も人それぞれによって多様化して、また今日一日の生活を通じて、フト振り返つて見た時、そこには言葉によってほのぼのとした日常生活が営まれることを感ずることでしよう。

その言葉とは何なのかと思う時、その人間の教養にほかならないと思います。

言葉によって、その人間が生きもするし死にもつながることはご承知のとおりです。

今も昔も変わらぬ人間の愛情は不滅です。

ぼのぼのとした人生も詰まるところは、人間の愛情ではないでしょうか。

(渡井医院 透析歴12年半)

結果報告

第九回腎バンク登録者拡大 全国いつせい街頭キャンペーン

10月8日

一九八一年から、腎バンク登録者を大幅に増やすための活動をつづけ、多くの方々の理解をいたしている「キャンペーン」も今年で九回目となりました。今年も厚生省が定めた「腎移植推進月間」に呼応し、当会もこの「月間」をより盛り上げ、腎バンクの登録者拡大をめざす啓発運動などの道民的運動を展開しました。

今年も各地とも天候が今ひとつで、雨の中や、肌寒い中で、十月八日各ブロック毎に、患者・家族・医療関係者・行政関係者・ボランティアなどが参加し、チラシー九、五〇〇枚、ティシュー一七、五〇〇個、風船三、一〇〇個、尿試験紙一、九〇〇枚を配布するなどして、腎バンクへの登録を呼びかけました。以下各ブロックの報告をいたします。

〈札幌〉

札幌では例年どおり、大通三、四丁目を中心に、患者・家族・医師・看護婦・行政関係者・スノーライオンズクラブ・移植者の会の方々など八十名ほどの参加でした。午後一時より約一時間行いましたが、天候に恵まれず、肌寒い一日で、人もいまいひとつ、登録者も一名と少なめでした。

患者・家族の出勤をもっと多く、

〈小樽〉

小樽も例年どおり、駅前長崎屋デパート前で、患者ら十三名が参加し行いました。

さらに盛り上げていきたいです。
(報告 芳賀)

毎年ですが、尿試験紙への関心が高く二〇〇枚の配布はすぐ消化され、多くの人達より要求が随分ありました。その割には、登録希望者は少なく、三名にとど



〈小樽〉



〈小樽〉

まり、考えてみると発言した人も結構いました。

肌寒い日で出席者も少なく、去

年より下まわりました。

今後マスコミへの要請と市の関係への要請にも少し努力するようになりたいと思います。

(報告 津田)

〈旭川〉

旭川では、丸井今井デパート前で、患者・家族・医療関係者等二十六名が参加して行なわれました。今回は腎キャンペーンを午前、難病連署名活動を午後と連続して行ない、寒さと雨の中で大変でした。

(報告 佐藤)

〈留萌〉

留萌では、今年も留萌市、羽幌町の二ヶ所で患者・医療関係者他三十四名の参加で行いました。無料血圧測定として、市立病院透析室より看護婦四名の協力を得ました。

登録者は留萌二名、羽幌二名出ました。

また、日刊留萌、道新等に記事が出ました。

今後は地道にゆつくりと活動をしてゆきたいと考えています。

(報告 吉田)

〈道南〉

十月八日、道南腎協は全国の仲間と歩調を合わせ、腎バンク登録拡大キャンペーンを実施しました。

当日は、小雨まじりの肌寒いあいにくの天気でしたが、函館駅前には会員十四名、家族一名が集まり、さらに市保健所、渡島保健所の職員四名の協力をいただき、総勢十九名が全員、ゼッケン着用で「献腎」のチラシとポケットティッシュを配り、道行く人に腎バンクへの登録を訴えました。私達の訴えにチラシを受け取りながら、「苦労様、頑張ってください」と声をかけてくれる人もあり、キャンペーン行動中に二名の方から登録の申し出があるなど実りある一日でした。

また、この日は江差町でも難病連が中心となり、署名行動とチラシ配布が行われました。

(報告 杉田)

〈苫小牧〉

苫小牧では、駅前サンプラザ前広場にて、患者・家族・医療関係者・ライオネスクラブ等三十二名の参加で行いました。



〈苫小牧〉

今年市より広報車を提供してもらい、テープをかけて周囲を回りましたが、テープの内容が車が走る速度では伝わらず、来年からは止まるか、歩く速度よりも遅い運転をしなければだめだと思いました。

(報告 廣岡)

〈室蘭〉

室蘭では、室蘭市丸井中島アイランドと、伊達市農協ストアー前の二ヶ所で、患者・家族等二十六名が参加して行いました。

市民との交流、ふれあいを目的に綿あめを配るなどして、券開気



〈十勝〉

〈十勝〉

帯広では、藤丸デパート前とイトーヨーカドー前の二ヶ所で、患者・家族・医療関係者等四十三名の参加で行なわれました。

(報告 佐藤)

をかえた事もあり、なかなかムードで実施されました。その反面患者の参加が少ない事、医療施設の協力が少ない事など反省点もあり、今後、患者の意識を高めることが課題です。広報車で市内を廻り、反響もそれなりにあったと思います。なお、登録者は八名でした。



掲載されました。

（報告 佐藤）

〈釧路〉

釧路では、イトーヨーカドー前にて、患者二十一名の参加で行なわれました。

マンネリ化を感じています。

（報告 上田）

〈北見〉

北見では、一条二条商店街、各デパート前（四ヶ所）で、患者・家族・医療関係者、その他三十八名が参加して行いました。

チラシなどを昨年よりは心よく受け取る様になり、数名が登録カードを持っていきましました。

今後もう少し何か（具体的にはまだ考えていませんが）工夫をする必要があるようです。

（報告 西木戸）

〈網走〉

網走では、ラルズ・プラザ前にて、患者・家族十三名の参加で行なわれました。

（報告 原田）

〈夕張〉

朝、晩には火の気がほしい季節、特に私達は寒さに弱いので好天に恵まれますことを祈りながら準備を進めて参りましたが、あいにく天気には恵まれませんでした。時々晴れる合間を利用してのキャンペーンでした。



山岳地帯は、木の葉に色づきはじめ絶景の地「バリバリ夕張」石炭の歴史村の入口付近を会場に実施致しました。総勢十九名の参加（会員十名家族三名関係団体六名）となり、近年にない多数の参加を得ました。日頃の会活動の成果と



も言えますが各自が社会に対し何等かの形で貢献しようとする現れであると判断します。僕が一時間か二時間でもこうしたすがすがしい空気の中で自分の身体を動かすことは、即自分の為であり自己管理に重要な要素であることなど、自らが積極的に行動を繰返すことが好調を保つ原点などと語り合い研修の場ともなり有意義なひと時を過ごしました。特に今年は入院中の会員二名の参加があり、病院では病人らしく振るまっているものが自己管理の良好な会員の中で混じって別人のように行動していたのには驚きました。良い事はす

拡声器にて、街頭演説を行ない、また、看護婦さんによる血圧測定、尿試験紙を渡しながら説明などして、反響が大変良かったです。

例年のように、国会議員の秘書の方や、道会議員の方なども協力願いました。

会員同志が揃って共同でする事があまりないので、一生懸命呼びかける行動は素晴らしい事と思われました。また各病院の交流もはかれるので、良いと思います。

今後の課題として、受持ち分担を明確にして責任を持って出来ればと思います。

報道は道新、十勝毎日新聞等に

なおに見習い一日一日が楽しく過ごせるよう自助努力すべきだと強く感じました。

全面的にも炭都夕張として最盛期には人口十二万人を数えた都市も今では三万人そこそことなり、観光都市として再出発へと行政機関を中心に市民あげて精魂を打ちこんでいる最中とあって「バリバリ夕張」の足踏みも力強く観光客が多く、用意した配布物はまたたく間になくなり、会場に備え付けた国会請願署名簿も多数の記帳を頂きました。

明年度も今日の顔触れが全員揃い、更に何人かの参加が増えるこ



とと、盛会に終了できた喜びを分かち合い乍ら散会しました。

(報告 須藤)

〈岩見沢〉

岩見沢では、断続的に降り出す雨の合間を見て、ダイエー岩見沢店正面出入口で患者・その他七名で行いました。

当日は、降雨と寒さで会員の出席も悪く、また市民の関心も少なく、三十分位で雨のため中止のやむなきになりました。

今年も岩見沢市の中村市民部長に参加をいただきましたが、患者や一部関係者のみの街頭キャンペーンには限界を感じ、来年は、別の形でと考えています。(たとえば、各市町村の「健康まつり」とのタイアップなど)

(報告 山田)

〈根室〉

根室では、ファミリーデパート前で、患者十二名が参加して行いました。

新聞社二社の取材があり、道新、根室新聞に二度にわたり掲載されました。

また電話による問い合わせも数件ありました。

今回は患者のみで行ないましたが、今後は他の団体、医療関係に参加協力を呼びかけたいと思います。

(報告 岡田)



腎提供者登録状況

平成元年10月末日現在

	10月	累計		計	
		男	女	男	女
北海道腎臓バンク	184	80	104	4,803	5,760
全 国	4,859	2,282	2,577	122,184	116,353

《登録時年齢》

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
北海道	8	62	55	32	19	8	184
	587	2,905	3,212	1,992	1,207	660	10,563

《血液型別》

	A型	B型	O型	AB型	不明	計
北海道	52	40	67	20	5	184
	3,702	2,338	3,199	1,036	288	10,563



第27回

道腎協ブロック会議開催・第一回の 役員研修会も開催される

全腎協分担金値上げを合意

平成元年九月十六・十七日と北海道難病センターにおいて役員・役員代理・オブザーバー・事務局員合計二十七名により、第二十七回のブロック会議が開催されました。

開会后、役員及び会員の逝去を悼み全員で黙祷を捧げ冥福を祈りました。

岩崎会長の挨拶の後、札幌腎友会の棧運営委員を議長に選出して議事に入って行きました。

一、報告事項

- (一) 各ブロック活動報告について
ブロック活動報告書にそって各ブロック代表が報告しました。
- (二) 全腎協運営委員会報告について

廣岡副会長より、先般行なわれ



棧運営委員を議長に選出

た脳死アンケートの結果、全腎協の分担金引き上げの運営委員会提案を報告されました。

- (三) 道腎協前期活動報告について
堀井事務局長より、第十二回総



各ブロックより活動報告

会の総括、JR運賃内部障害者割引の早期認可要請行動・道腎協企画沖繩旅行・その他前期の道腎協活動報告がありました。

(今号編集中にJR・航空運賃の

割引決定報道がありました。)

- (四) 平成元年度前期会計報告について
会計資料にそって芳賀会計から平成元年度会計報告がありました。

- (五) 平成元年度前期会計監査報告について
安江会計監査から平成元年度前期監査報告がありました。

※以上、報告事項は質疑の後、一括承認されました。

二、討議事項

- (一) 全国一斉腎登録街頭キャンペーンについて

堀井事務局長より、道庁・各市町・報道機関医療スタッフ・ライオンズクラブ等の関係団体への協力要請の現状、報告がありました。

- (二) 国会請願署名・募金、JPC



役員研修会 — 小関 修氏を招いて

請願署名・募金について

堀井事務局長より、この署名・募金活動は、私達腎臓病患者の医療福祉を前進させる為に、是非成功させたいという説明がありました。

(三) 全腎協分担金値上について

岩崎会長より全国会長会議の分担金引き上げの対応、廣岡副会長より全腎協運営委員会の分担金引き上げの提案理由の説明がありました。

このブロック会議の最重要課題であります「分担金引き上げ」は、「現行月額百円」の分担金を「百

五十円」にし、その実施は引き上げ額五十円のうち三十円を来年十月から、残り二十円を明後年十月からの二段階実施とするという提案です。

活発な質疑の結果、国や厚生省への陳情活動などこれからの厳しい医療環境への対応など全腎協の果す役割は重要なので、より一層の合理化をし、全国の会員の組織率アップ向上を条件に「五十円」の分担金引き上げは全会一致で承認されました。

(この分担金引き上げ問題は機関



役員研修会 — 真剣に話を聞き入る役員

紙「全腎協」でも理由説明がされるそうです。

※以上、討議事項は質疑の後、一括承認されました。

翌日、十七日は、道腎協第一回の役員研修会が開催されました。

千葉県から全腎協副会長・千葉県腎協会長の小関修氏を招いて、患者会活動について」というテーマで二時間程講演して頂きました。

(一) 社会保障の充実、(二) 福祉制度

第五十七回全腎協幹事会報告

全腎協幹事 札幌腎臓病患者友の会

川 村 隆 志

の中野サンプラザにおいて幹事他七十三名が参加して開催されました。

今回の幹事会は重要テーマである「分担金引き上げ」について柳田財政部長より運営委員会案についての説明がありました。

第五十七回幹事会は、十月二十一日、二十二日の両日場所を東京

後退とのたたかい、(三) 全腎協の歴史、(四) 腎疾患総合対策の早期確立・実行、(五) 内部障害者の権利、(六) 全腎協(腎友会)は患者にとつていつまで必要か? など現在の全国的状況を説明し、これからの患者会活動のめざす指針を与えて頂きました。

午前十一時半若干の質疑の後無事終了しました。二日間の間会議・研修会と休憩も少ない中、各役員の皆様おつかれさまでした。

上げ額五十円のうち三十円を平成二年十月から、残り二十円を平成三年十月からの二段階方式で実施することとした。また、引き上げ額五十円分の内訳説明で次の内容がありました。

①一般会計において収支バランスの回復(十円)

②特別会計から移す事業の経費(十円)

③事務局体制と組織活動の強化(十円)

④事務局の移転・拡張・事業活動の強化(二十円)

討議では、各都道府県の幹事から活発な意見がありました。その

中で、残り二十円の引き上げで、東京と大阪が「保留」しましたが、他県は、「分担金引き上げ」を基本的に合意し決議しました。

この他に、幹事会では、プロジェクト活動報告、上半期活動報告、中間決算報告と会計監査報告、承認事項として、予備費の支出、岐阜県の前幹事の逝去に伴い、幹事の交代について承認が行なわれ、街頭キャンペーンの総括と今後のあり方について、国会請願行動の改善について、二十周年記念事業の検討などについて討議しました。

第一四〇回全腎協運営委員会報告

全腎協ブロック代表 苦小牧つくし会

廣岡達夫

十一月四、五両日、戸山サンライズにて会長以下十四名が出席し行われた。

まず報告事項として、(一)顧問会議について、(二)腎移植推進国民大会について、(三)街頭キャンペーンについて、(四)会計監査について、

(五)他団体関係、①JPC、②推進協、③全難連との活動報告、(六)その他の活動記録、(七)会計報告がそれぞれ出席、担当委員より報告があり、それぞれ承認された。その後、討議事項に入った。

第一の第五七回幹事会の総括では種々の意見が出たが運営委員会としての反省、また幹事の不規則な発言をさせない様議長の権限を強めるなどが決まり、幹事会出席者の発言に対する答弁などを要約して各自に送ることを決定、(一)分担金引き上げの手順について話し合いがあり、☆規約修正案、会計処理規則修正案作成は財政部長、事務局長に一任、☆幹事会に出した「Q&A」を説明資料として各県へ患者会相当数を送る。☆各県に説明が必要な場合、三役と財政部長が分担し行う。☆二十円については事務所移転費用、特別会計積み立て金の回復につとめる、との決定がなされた。

(二)後半期の運動課題と体制について、最近の医療、福祉に関する動向が小林事務局長より示され、それにより討論を行いました。事務局長が示した動向は事務局ニュー

スー〇九号にて報告されており、(三)内部障害者問題研究会報告書については中間報告がなされたが最終報告書をまとめてもらい、次回運営委員会に報告してもらい、検討することにし、(四)脳死、臓器移植に対する会員アンケートについては顧問会議に報告され、この報告書は外部には特別の発表はせず特徴的なことは機関紙にて発表する、(五)その他はJPC全国交流会への出席者を決め、神奈川県内二病院への会報発送と神奈川県腎友会との今後の折衝を関東ブロックにお願いすることとなった。

以上



ブレック便り

札幌ブロック

十五周年記念親睦パーティー開催

札幌腎臓病患者友の会では、去る十一月五日に十五周年記念親睦パーティーを札幌郵便貯金会館で盛大に開催いたしました。

三役会議を開催し、十五周年行事に何を行うか色々検討した結果、記念パーティーを開催する事に意見が一致し、幹事会を開き幹事の皆さんの意見を聞き開催する事が決定されました。

準備期間が約二ヶ月しかなく大変な苦労と忙しい思いをしました。何しろ初めての試みなので、何をどうやっていいのかわからず苦労がたえませんでした。また次から次と必要な物が出て来て予想以上に経費がかかりました。

そんな中で当日がやってきました。当日は、会員・家族・来賓など、約二〇〇名が出席して行なわれました。

鈴木会長の挨拶、この十五周年の間に亡くなられた尊い仲間の方々のために黙とうを捧げ、来賓の挨拶、引きつづき十年、十五年未満の透析者の表彰が行なわれ、一〇



パーティーに出席した人々



鈴木会長の挨拶

八名の方々が表彰され、施設代表者に表彰状と記念品が鈴木会長より手渡されました。乾杯をした後、パーティーに入り

室蘭ブロック

学校検尿システムに関するシンポジウム開催す

シンポジウム開催す

パーティーではエレクトーン演奏、同じ透析者であつてプロ歌手の郷田二郎ショー(キングレコード)、お楽しみ抽選会などのアトラクションなどが行なわれ、わきあいあいの中、華やかなうちに2時間半が過ぎ無事終了しました。役員・実行委員の皆さん大変ご苦労さまでした。(報告 永田)

先般、私たちは全腎協の活動方針であります腎疾患総合対策の一环としての予防対策に着目し、昭和四十九年と五十三年に施行されました学校検尿システムの現状を把握するため全国と室蘭市の対比をシンポジウムという形式で行いました。今度の開催は初めてという事で手さぐりの状況でありましたが室蘭市保健センターのご

協力もあり、なんとかまとめることができました。シンポジウムに北海道の学校検尿システムに関する責任者である札幌医大の講師であり、国立西札幌病院小児科医長である門脇純一先生を招き、テーマとして「学校検尿システムの現状と今後の対策」ということで講演していただきました。プログラムは最初に私供が用意



スライドを説明する門脇先生

した「明子二十才の季節」というビデオを放映し、腎臓病のアフターケアがいかに大切かを訴えた後、門脇先生の講演、さらに室蘭市の現況報告、最後に道腎協の岩崎会長に腎疾患総合対策について講演していただき、質問時間を合わせ、二時間余りのシンポジウムの幕を閉じました。

シンポジウムで問題点として提起されたのは、検尿により精密検査が必要とされる有所見者の一部(全国平均三〇%)が検査を受けていないという状況であります。今後この状況を改善し、百%完全実施にもっていくことが大きな課題で

あり、いかに家族と学校関係者の腎疾患に対する認識を高めていくことが大きなポイントであることが指摘され、さらに腎疾患の無症状から起る病気の性質上、予後管理の徹底を目的としたケアシステムの導入など検討しなければならぬ状況にあることが提起されたように思われます。国も腎疾患総合対策として検尿システムをとりあげ、昭和五十九年からアフターケアを重点とした施行の見直しにとりかかっており、私たちの活動に大きな福音となることでしょう。



興味深げに聞きいる人達

千葉、神奈川県では国の方針に基づきアフターケアシステムを導入し、結果として小、中学生の腎疾患の減少が顕著に現れていることが報告されています。

全腎協の請願活動により施行された学校検尿システムは十五年過ぎた今日、小、中学生の透析導入者の減少という成果を生みました。この成果は私たち患者の社会に対する貢献のひとつであり、患者会の存在が無意味でないことが分かると思えます。しかし、私たちの努力にもかかわらず現状では患者は増加しています。この増加を防ぐためにも、私たちの活動の存在が大きくなると思えます。

今年度のシンポジウムは対象者に学校医、一般開業医、養護教員、保健婦、一般ということで行いましたが、当日は祝日ということも

あり出席者は予想以下でありました。しかし内容的には盛況だったと思えます。閉会后、関係者のミーティングの中で再度開催の要望等が出され、私たちの活動に期待したいということも出されて、私たちにとって今後の大きな励みとなりました。一応今回は行政との対応の面や、シンポジウムの開催等について大変勉強になりました。また、開催に際し札幌より出席されました道腎協の岩崎会長はじめ、堀井事務局長、飯村事務局員にご協力を得ましたことを心から御礼申し上げます。今後、当腎友会では道腎協の協力を得、このような機会を行っていききたいと思えます。

(報告 佐藤)

苫小牧ブロック

「札幌ブロックとの

合同レクリエーション」

今年度は札幌ブロックより昨年からの話のあった合同レクリエーション

を九月三日支笏湖畔ポロピナイキャンプ場で札幌ブロックの炊事

遠足に参加するという格好で行われました。

苦小牧としては一年以上前に室蘭ブロックと合同で登別のクッタラ湖畔で炊事遠足をして以来の他ブロックとの交流でした。

当日は札幌ブロックの方々約一五〇名の中に我々会員十八名家族三名が参加したもので、残念ながら天候は悪く苦小牧出発時降っていなかった雨が途中から降りだし、小雨の中の炊事、集会でした。雨は皮肉にも帰りには上がっていました。それでも札幌ブロックの用意し



豚汁、ジンギスカンに舌づつみ

てくれた材料でジンギスカンと豚汁をつくり舌づつみを打ち結構楽しんでいました。

ただせっつかくの交流会だったのに、病院単位、ブロック単位となつてしまった事で、それなしにして交流し新しい仲間が出来る様にした方が良かったのではないかと考えました。

岩見沢ブロック

秋晴れの一日を楽しむ

去る九月十七日(日)、会活動計画の一つであるレクレーションが苦小牧市ウトナイ湖と恵庭市にて、さわやかな秋晴れのもと、和気あいあいの内に一日を楽しく過ごしました。

レクレーションの目的は、家族やスタッフ等との親睦、交流という事はもちろんであります。これ以上に私達にとって普段の透析生活でたまった精神的ストレスの解消を少しでも言う事で、毎年患者さんが一番楽しみにしている行事の一つであると思います。

今年は何んといっても我々は札幌の方々、負んぶに抱っこだったので札幌の役員の方々には大変お世話になりました。

交流会の行う場所は相互に実行委みたいなものを出して行うと一方だけの負担にならなくて良いのではないかと思っています。

(報告 廣岡)

この日の参加者は会員二十二名、スタッフ六名、家族七名の総勢三十五名の一行が会員の運転する車に分乗して、午前九時、病院前を出発、車は国道二三四号線を南へ、紅葉には一寸早かったが稲穂がなびく田園風景を眺めながら約一時間半のドライブで最初の目的地、ウトナイ湖に無事到着。早速ゲームと言う事で、日頃運動する事のない私達でも無理する事のないゲームを考え、湖畔にあるバットバットゴルフを選び、四人一組になって十八ホールの難関に全員が



バットバットゴルフ

挑戦しました。大半の人が初めてとあって悪戦苦闘、一打一打に歓声があがっていました。このゲームは、ゴルフのバターを使い、形の異なつた長さ約十メートル程のホール十八ヶ所を何打でカップインするかを競うもので、十八ホールのトータルが最少の者に優勝賞品をという事で和やかな雰囲気の中にちり真剣な顔がありました。昼食は場所を国道三十六号線を北へ、恵庭市にあるヘルスセンターに移し予約してあった弁当とちよびりの飲物を口にしながらゴルフ



レクリエーション参加者全員で

十八ホールを五十二打で回り見事優勝、祝福の拍手に満足気でした。食事をしながらゲームを振り返って談笑したり、風呂に入って疲れをいやす人、思い思い自由にくつろぎ明日への活力を養っている様でありました。

帰路の途中、世界一高い鳥居のあるキリマンジャロに立寄り、広々とした日本庭園を散策しながら、おいしい空気を一杯吸って心なごむひとときを過ごし帰途につきました。

日頃の自己管理をきちっとし、来年も又、楽しい思い出を作れる様、頑張つて行こうとを口々に午後五時病院前にて解散しました。

(報告 関沢)

網走ブロック

日帰り旅行を終えて

七月二十九日(土曜日)
今回の日帰り旅行は、晴天に恵まれいい一日でした。

網走を八時半に出発、出席者は大人九人、子供一人の計十名で十

時頃、いなせランドに到着、遊覧船に乗りました。

湖の色がとてもキレイで、今にもクッシーが現れそうな感じでした。昼食を済ませ、次に和琴半島

へ行き、美幌峠で二休みをして帰ってきました。

今年行けなかった人は来年一緒に行きましょうね。

※運転手の皆さんお疲れ様でした。

(報告 清水)



浦河ブロック

恒例「観楓会」

十月八日、日曜日、もうすつかり恒例になっている観楓会が行なわれました。

今回は、町内から約四十分程、山道へと入ったカマイ橋という川辺での観楓会となりました。

炊事のメニューも、今回は牛のステーキという新メニューも加わり参加者一人ずつに特大ステーキ



屈斜路湖畔で

が、その他に焼きソバ、豚汁、デザートには、甘くておいしいスイカなど、お腹いっぱい食べました。今回の参加者は総勢六〇名。お腹いっぱいになったその後は、会員の皆さんや家族、透析室のスタッフの人達が参加してゲーム大会です。二列になって競争のスリッパラリー(手を使わずに足でスリッパ

を隣の人に渡して競うもの)や足に風船をはさんで競争する風船リレーなど、みんな大ハッスルでした。さわやかな秋の日曜日。おいしい、楽しい一日となりました。

(報告 柳)



スリッパ送りゲーム

友達の会

仲間を訪ねて

氏名 永田 和之
年齢 三十六歳
住所 札幌市北区

透析歴 九年十カ月
通院病院 佐藤医院
家族 一人暮らし



一、透析導入までの経過

小さい頃から体が弱かった。直接の透析導入になった要因は、S五〇二、十九日溶血性貧血(球状赤血球症)により、脾臓摘出手術後大量出血による急性腎不全による、尿毒症を起こし緊急透析をした。その後回復したものの慢性腎不全に移行し、五年間は透析をしないで過ごしましたが、S五五、二、十九日より、再び透析を開始し現在に至る。

現在はHDFを行っている。
二、現在の日常生活はどう過ごしているか

腎友会活動を中心に、ハム(無線)免許取得。ワープロの練

習などを行なっている。
三、食事などの自己管理で注意している事は

三食を必ず食べる事

食べ過ぎに注意する事

水分の摂取に注意する事

バランスを考えて食べる事

四、体力維持に対する工夫は

出来るだけ体を動かすようにしています。

でも車を運転しているので運動不足がみえます。

五、将来に対する希望は

友達と二人で会社を経営する事

ハムクラブをつくる事

六、仲間になりたい事、聞かせたい事はないですか

体力の維持をパーセントで表わすと、自己管理が七〇%、残り三〇%が透析治療だと思っています。

が最も大事だと思うし、思い出を作ると、言う事がどの患者にも共通した思いだと思う。

腎臓病患者にかかわらずにはば

広く他の病気の患者とも文通

がしたい心優しき三〇歳までの異性友達大募集!

住所 札幌市中央区南十九

条西八丁目二一十八

マンション小林2F2号室

望月伸二ファンクラブへどしどしお手紙を待ってるよ

◆文通コーナー募集中◆

氏名、性別、年齢、住所、病歴、職業、趣味、相手への希望などを明記の上、出来れば顔写真を添えてお申し込み下さい。

趣 味 コメディ番組をみるのが大好きだ。健常者との文通でうまくいかないのが現実で患者にとつて最大な悩みで、俺にとつて、出逢うきっかけ

よくよしても始まらない)

医療機関 北海道循環器病院

透析歴 二年半

性別 男性

年齢 二十六歳

生年月日 S三八、七、二七生

愛称 しん

氏名 望月 伸二

氏名 望月 伸二

氏名 望月 伸二

氏名 望月 伸二

氏名 望月 伸二

私の趣味

何か夢中になれる事を

見つけましょう

札幌北クリニック 村 本 徳 雄



私の趣味について書いて下さいと言われ、はたと困り果てました。じっくり考えて見て、さて自分に趣味らしいものがあるのかと自問すれば……ありました。

ハッキリ言ってカラオケです。下手の横好きと言うか、自己満足、

ガチャやっていました。

ギターの無い生活など考えられないくらいでしたのに、今ではほとんど弾く事ありません。自分でも不思議なくらいです。

それに手根管症候群を患ってからは、指の動きも思うにまかせず、かえってストレスがたまりそうなんです。

喫茶店では、常時有線放送が流れていますから、自然とメロディーを覚えてしまふんです。有線放送はテレビより早く新しい曲を流してくれまふから、結構新しい曲もカラオケで歌います。

透析患者さんはそれぞれ、様々な職業、あるいは様々な家庭をかかえている訳で、ストレスも様々だと思えます。健康な人の間でさえストレスが蔓延している時代です。四時間から五時間もベットに束縛される私達は、それだけでもストレスがたまってしまうます。

様々な状況でたまったストレスを解消するひとつの方法として何か夢中になれる趣味を持つ事も良い手段だと思えます。

ただ家の中に閉じこもって、冷蔵庫とにらめっこしているのはあ

まり感心しませんし、ひとつ間違えると、水やジュースをガンガン飲んでストレスを解消しようなんて考えてしまいそうですから。

夢中になれる事があると、夢中になっている間だけでも水や氷の事を忘れていられますから、体重管理も楽になります。

それに、私達の場合、趣味によっては生き甲斐という事にも成りますから。

私が透析に入った昭和四十九年頃は、患者さんの状態もけっこう良くありませんでしたが、現在は、医療機器もめざましい進歩を遂げ、又早期導入により、社会復帰も早まっていますから、職場に復帰される方も多く、職場でのストレスも大変なものだと思います。

ストレスは早い時期に解消する事が大事だと思います。解消方法で悩んでいる貴方、今すぐカラオケをやってみませんか？ちなみに、私の家にはカラオケマシーンはありません。

さて、私はいったいどこでカラオケをしているのでしょうか？

そうです貴方のご想像通りです。

(透析歴 十五年七ヶ月)

『お茶と私』

小樽第二病院 須貝 恵美子

私が「お茶」を習い始めてから早いもので、もう十一年目になろうとしています。よくもまあこんなに長い間続けて来たものだと思ながら感心しています。その十一年の間には、本当に色々なことがありました。「お前のようなそっかしい娘は、お茶でも習いなさいよ。」と冗談まじりに言った母の言



葉が発端で、「それじゃあ習ってみるか。」という全く軽い気持ちでのお稽古始めでした。

よく「お茶室に居ると心が落ち着く。」という言葉を聞きますが、初めはそういう心境には程遠く、毎回毎回、緊張と足のシビレとの闘いで、お稽古の終わるころには汗でびしょよりになってしまっています。そのころは、何度も「もうやめようかな。私には向いてないな。」なんて思ったものです。そんな状態だったのに不思議なもので、年が経つにつれ、だんだんと「お茶」の面白みを感じられるようになって来ました。「お茶の本質は、相手に対する思いやり。」と、先生は常におっしゃいます。お茶をいただく時にお茶碗をまわすのは、相手に正面を向ける、つまり相手に敬意を表すということなのだそうです。今、日本人は国際的に色々な批判を受けていますが、日本人の

心とは本当はともやさしく、柔軟なのではないでしょうか。

「お茶」を習い始めてから四年目の春に腎不全で倒れ、透析を始めることになりました。その時のショックは、もう私が話すまでもなく、皆さんが経験していることですので省略いたしますが、驚いたことに、入院中の夢の中で私は「お茶」のお稽古をしているのです。一度ならずも、二度三度と見るのにはあきれてしまいました。こんなにも「お茶」が私の中で占める位置が大きかったとは。

その後、体調を回復し、職場に戻ったり(町役場に勤務しています)して一年程、お稽古を休んでいたのですが、昭和五十七年の秋ごろからまた習い始めることになりました。退院してから始めてお茶

室に入った時は、本当に感無量でした。「ああ、習っていて良かったなあ。」と、つくづく思ったものです。最初は軽い気持ちで付き合ってきた「お茶」が、知らず知らずのうちに関心を持って大切なものになってきていたのですね。

今、私達の社中では、年に一回の町主催の文化祭に「お茶席」を設けたり、外国からのお客様が来た時の「歓迎レセプション」などに参加したり、色々な楽しい行事を行って行きます。私も、体調の悪い時以外は、なるべく積極的に参加し、充実した時を過ごしています。これからも、無理をせず、楽しみながらお稽古を続け、「お茶」を通じて「自分」というものを見つめる時間を大切にしてゆきたいと思っています。

旅行・書道そして絵

函館平田病院 熊谷 みよ

昭和四十年に右の腎臓を摘出し、二年に一度の精密検査を受けなが

ら、昭和六十年十二月透析の身となり、最初の頃は暗闇の中に体も



心も引込まれる様で、不安と恐怖に人様と語り合う余裕もなく毎日を過ごしておりました。

このような私を娘は心配し、「お母さん、書道か絵でもやって見たら」と趣味を持つことを勧めてください。近くの書道教室に通い始めました。一ヶ月、二ヶ月と過ぎていくとお友達も出来、色々な話を聞きながら毎日が楽しくなってきました。そんな時にふと思いついたのは、小学校六年生の時俳句のまねごとを覚え二度入賞し先生から賞状を頂いた事や、昭和五十八年十月長崎に住む娘の所へ旅行に行つ

た折、長崎諏訪神社境内で孫と写真し、NHKの写生展に応募して後日NHK長崎放送局より作品が入賞した旨の連絡を受け賞状が送られてきた時は、私の描いた絵をたくさんの人達が見てくれたんだとうれしくなり、それがきっかけで墨絵が好きになり、今でも書いております。

また、私は旅行も好きであちこち出掛けます。昭和六一年八月、午前零時四五分発の青函連絡船、グリーン寝台を求めてくれた娘の心遣いに感謝しつつ、四時間の船旅、寝すこしてはならぬと、うたたねの一夜を病氣のことを考え、胸のいたみを感じながら過す……。

「細き月 かがりて岸を 打つ
波は 眠りを深く誘ふ」

昭和六二年四月、青函トンネルをくぐり、鉄路を新潟へと向い、新潟大森病院で透析のお世話になり、弥彦神社、白山神社に健康を祈り、伊藤邸、清水園と歴史はたくさんありました。高田城、西山町の田中角栄の屋敷と見てまわり、角栄も大きな夢をもって生まれた人物であつたらうに、人間の運命の重さを感じながら金沢武家屋敷、

福井の東尋坊、永平寺を参拝し宿をとる。

「小き石 積み重ねたる 山々
は 亡き子へのたむけか 合
掌しきたる」

「竹林の 深き木立を すぐる
風 香きざわめき 伝えてさ
やく」

こうして旅行に出られるのも、厳しい状況の中で社会福祉向上のため頭をいためておられる皆様、また、医学の進歩を目指し研究を進められる先生方の賜物と感謝しつつ……。

以上、私の趣味について書きつらねてきましたが、いま晩秋の窓

「オシヤベリ」でストレス解消

夕張市立病院 玉木 八恵子

今回は私の趣味というテーマです。

何が趣味かと言われても、書く段になると大変むずかしく、ペンが走りません。

趣味のないのが趣味になるのか

外に目を向け、風に吹きさらされて飛んで行く雲をながめながら筆の先にたつぷりと墨をふくませて、その重みで白い紙に筆をおろす時、六五年という歳月の流れの中で実に数えきれない程の思い出が走馬燈のように胸の中を去来し、決勝戦で涙をのむ無念さのこどく、病気の身への悔しさとして込み上げて来るのをおさえながら夢中で筆を走らせます。

これからも名所、旧跡をこの目で確かめながら旅行し、多勢の人達と出会い、自分の趣味を生きがいとして、楽しい人生を送りたいと思います。(六五歳)

も知れません。色々迷った末、私

は「オシヤベリ」この事につきます。熱狂的なプロ野球ファンの人そしてアンチ巨人の私です。まさかと思つた逆転優勝日本一になったのも、悔しい出来事のひとつで



す。心は晴れません。透析室も巨人ファンが多く、巨人の負けた次の日の透析は私のオシャベリで始まり、ルンロン、巨人が勝った時は沈黙のみでなく一言二言も理屈に合わぬ事ばかり言っては嫌われます。これもストレス解消のひとつなのかも知れません。

私達の透析室は、皆なごやかで、人と人との触れ合いの場です。オシャベリと言っても人さまさまで悪口もあり、自分の事ばかりの人色々ですが、自己表現のさいたるもので、人の対話、交流と言った点では、貴重なひとつではないで

しょうか。

テーマとなると私は趣味と実役を兼ねております、春は花、季節に合わせて野菜を作り、今年も大根、ジャガイモ、人参と買う事もなく、漬物も終わり、近所の友達と時折お茶のみ、暇を見てくず毛糸でくつ下・手袋などを編み、近所の人や弟や妹に配って喜ばれています。これから到来する冬將軍

「私の趣味について」

浦河赤十字病院 柳

美佐江

に備え、多少の除雪に耐えて行けるように体力の維持に努力し、頑張っております。

平成元年も残り少なくなりました。来年は九州・沖縄に引続きどこかへ旅行に連れて行ってほしいと思っています。道賢協の皆さん、自己管理に注意し、これからの人生を悔なく過ごそうではありませんか。

私の趣味と言えば、やはり「音楽」です。

音楽を聞くのも、もちろん大好きなのですが小さい頃から、ピアノやエレクトーンを弾く事が大好きでしたので、今も続けて練習しています。

透析を始める前と比べると、やはり今の方がつかれやすいので、前ほど弾く事ができませんが、気持ち落ち込んだりしている時でもピアノやエレクトーンの美しい

音色を耳にすると、ほっとしてまた頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

今は、非透析日の月、水、金には、近所の子供達にエレクトーンを教えています。趣味が三年前から仕事にもなった訳です。

今年の七月には念願だった発表会をする事ができました。(写真は、その時のものです)

時間ができるといつも楽譜書きをしたり、曲を聞いたり、私は根っ

からの音楽大好き人間です。これからも、ずっと続けたいと思います。



(二十九歳
透析歴三年六ヶ月)



腎友会は私たち患者を守る城である!!

室蘭地方腎友会会長 佐藤利國

現在、透析医療費は年間一人約六百万円かかります。

この金額は中堅サラリーマンの年間所得に匹敵する費用です。私の場合、透析歴十年、これまでの費用、五千万円以上です。誰もが逆立ちしようとそう簡単に払える金額ではないはず。しかし、私はいま、生きています。

導入時の苦しさ、つらさを考えると、こんなにも元気でいられるとは思いませんでした。私にとって生きていくことはあたりまえではないわけです。医学のすばらしい進歩は云うまでもありませんが、それ以上に私たちをとりまく環境の進歩があったからだと思います。"生きる権利"だから。"福祉"だから。と当然のよう

自治体の大きな負担となっていました。

今年になって二、三の県で全額公費負担から一万円私費負担となっていました。幸いにも北海道は道腎協の強力な運動と努力により、全額公費負担となっています。

しかし、患者が四千人を越えた今、自治体がいままで負担が可能かが問題となります。"何とかなるさ"、"そんなことないよ"なんて云っているわけにはいかなくなります。

私たちは医療や社会環境が日に日に厳しくなっていることを自覚し、私たち患者が今、"何をしなければならぬのか"を真剣に考えてみる必要があるのではないかと

思います。"患者会に入らって何の恩恵もない"患者会は"無意味"だという声がよく聞かれます。医療機器と技術の進歩により、導入もスムーズに行くようになり、以前のような"苦しさ、つらさ"が分からない性もあるでしょう。また厳しい中にも、私たちの環境が思いの他、恵まれていることなどから、無関心な声が聞かれるのかも知れません。しかし、こうした環境は長い時間を費して、全国の

腎友会が全腎協に結集し、国政に請願運動し続けてきた成果なのです。"無意味"だという患者は腎友会の存在の重要さが分からないからでしょう。腎友会があるからこそ、私たちが安心して透析が受けられていることを自覚してもらわなければならないと思います。

これからも私たちを囲む環境を改善していかなければならないことがたくさんあります。私たちのことばかりではなく、私たちの後世を担う子供たちのためにも、私たち透析患者全員が腎友会を通じて協力しなければなりません。そうでないといけないからです。

腎臓病のこわさ、苦しみは私たちだけしか分からないことです。私たちは病気の経験を土台にして、患者を増やさないための運動、社会環境の改善などを目的とし全腎協を中心に、社会や国政に対しアピールを続け、患者としての社会に対する役割を果たしていくことが義務であり、それが社会の貢献につながるのだと思います。腎友会はそのための城であり、私たちを守る城なのです。私たち腎臓病患者は難病患者の

中でも一番恵まれています。それは全腎協を中心に46都道府県に道腎協のようなしっかりした組織を持つているからです。

全腎協は他の患者団体を支える大きな柱でもあり、国政に対し「もの申す」ことができる随一の団体だからです。一番大きなことは国

が私たちの運動と会の存在を認めているということですが。

私たちは透析患者は全員、腎友会の会員となり、全腎協の組織を支え、私たちの環境を守り、改善するとともに、明日の福祉向上の一助となるために運動し続けることを目的としなければならぬと考えます。

「旅」ゆかば…。

〈室蘭通信〉

私たち、室蘭地方腎友会には老いた青年ともいふべき、はつらつ

会員さんがございます。その人は小野寺彰さん六十六歳。透析歴七年



シンガポールの旅

余り。六十六歳とはいえ元気はつらつとどんでる爺ちゃんです。

しかし、淋しいことに六年前愛する奥さんを亡くし、現在息子さんと二人で登別市に住んでいます。毎日、食事を自分でつくり、週に三回、一時間かけて室蘭市の日鋼記念病院へ通院しています。「大変でしょう？」と声をかけると、「いやいや」と笑顔がこぼれます。そこで「小野寺さんの趣味は？」と聞くと「旅」。国内？「いやいや国内、海外両方だとか。爺ちゃん」は常々元気で歩けるうちはいろいろ見物したいと「旅」を「生きがい」にしていることを話して下さいます。

さて、昭和五十七年に透析生活に入ってから今日までの爺ちゃん「旅」は国内は釧路、函館、阿寒など道内各地、そして遠く沖の島、沖縄、海外はハワイ、そして今回はシンガポールと大したもんです。次は香港、オーストラリアと計画は続きます。「生きているという事はすばらしいですネ小野寺さん！」写真を片手に眼を丸くして楽しそうに旅行記を話して下さいます。

それでは今回のシンガポールについて話してもらいましょう。

シンガポール航空会社は機内サービスが抜群によろしく、ドリンクは飲み放題（ウキスキー、ビール、ジュース、コーラ、コーヒー、紅茶等）。しかし、残念です爺ちゃん！「いや、少しネ。」

さて、シンガポールは島国であり、埋め立てしてつくった国というところで、何とすばらしい箱庭のような街並。高層ビルが立ち並び、道路は一方通行で車の事故が少ないこと。時折、南国特有のスコールが降り、色とりどりの蘭の花が咲きみだれ、情緒豊かな美しい観光そのものの国だそうす。爺ちゃんにとって大変気に入ったようです。ホテルは東洋一、六十六階建てのウエスティン・スタンフォード（写真一）に宿泊。部屋は四十一階、エレベーターで十四、五秒ヒューンと到着、眺め抜群！そこで第一日目は終日、シンガポール市内観光。

免税店でショッピング。ウキスキー、タバコ、宝石、皮製品等、いろいろありましたが爺ちゃんは二十二金の指輪を買いました。値

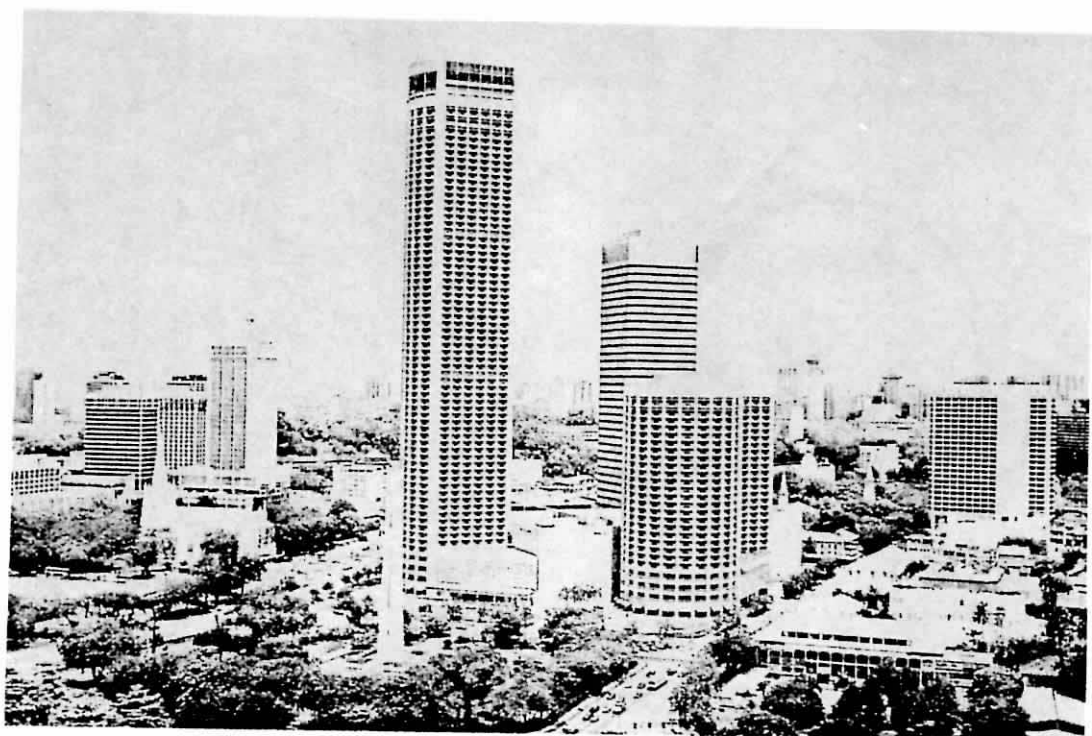


写真1：ホテル、ウエスティンスタンフォード

段は？ないしょ!!

第二日目はジョホール・バルと蘭園一日観光。特にマンタイ蘭園が最高。温室ではなく、自然の蘭の花園。その中にそびえるサントタン王宮や回教寺院の光景は目をみはるばかりだったそうです。(写真二)

第三日目はセントサー島一日観光。島まで行きは船、帰りはケールカー、(写真三)。島には南国地方の昆虫博物館があり、その中で、シンガポールでしかみられないというサムライチョウチョウがおり、からだ全体がサムライの顔に似ていることからその名がつけられ、とても珍しかったそうです。

また、島には戦争博物館があり太平洋戦争当時の山下将軍の戦争裁判の様子が行う人形で再現されており、爺ちゃんの戦時の南方兵役のことが思い出されたそうです。夜はシンガポールの夜景を眺めながらのディナー…船上から。

小野寺爺ちゃんにとってこの三日間は疲れを知らないぐらい楽しい時間だったことでしょう。話す口もとにその満足感があふれていました。



写真2：サルタン王宮

シンガポールの食事は…余り口に合わなかったようです。

ところで、透析は？と聞くと、シンガポールには日本の東レ㈱が建てた総合病院があり、日鋼病院と変わりなく順調に出来たとのこと。病院食は和風弁当で問題なし、きれいな看護婦さんといったとか…黒い人も!

話の中で、爺ちゃんが真剣な顔でシンガポールの透析の状況を話してくれました。透析患者数は六〇〇名ぐらいで殆ど増えも減りもしないということ。その原因は医療費が全額私費であり、お金のあ



写真3：セントサー島



るなして週一〜二回、三回は生まれだそうです。そのため、死ぬ人が多く、増えるのと同比率だそうです。治療費は一回四三、〇〇〇円。家族、親戚が全部で一人の患者の生命を支えているとのこと。まさしく「金の切れ目が生命の切れ目」です。当初の日本がそうでしたネ。悲壮感そのものです。日本でよかったです。と爺ちゃんは思ったそうです。私たちも自分たちの恵まれた環境を大切にしなければなりませんネ。

南国の楽園の中でした。体調も飲食の節制ができ、順調な毎日でした。五日間で帰りまで三日間の透析なしの状態も、無事通過、やればできる」と爺ちゃんは胸を張って言い切りました。よかったネ小野寺さん！
帰ってから二日位で疲れはとれたそうです。
次は香港、オーストラリアが待っています。道腎協で企画して下さい!!との爺ちゃんの希望です。次回をお楽しみに。

(通信員 佐藤)

北海道難病連協力会員のお願い

ご家族お知あいの皆さまへ

ご協力をお願いして下さい

1口2,000円(法人は1万円)で—— ※毎年12月にご請求申し上げます。

安定した運営のため

北海道難病連と加盟団体の運営を安定させるためには、定期、定額の収入が必要です。

一万人の協力者がいると、二千万円の財源となります。

ご家族、知人、友人、協力会社の方々に、ご協力をお願いして下さい。

各団体の資金にもなります。

道難病連の所属部会名(加盟疾患団体)または地域ブロック名を、指定していただければ、会費の五〇%を、その会へ還元いたします。道難病連と共に、加盟団体、地域ブロックの活動資金も確保されます。

送料は無料

郵便振替用紙をお送りします。郵便振替の手数料はかかりません。

年に一回、請求書と一緒に用紙をお届けしますので、ご利用下さい。

お申込は……

道腎協事務局(TEL〇一一七四七〇二一七)へご連絡下さい。振替用紙をお送りします。

感動のハワイ IN ALOHA DIALYSIS CENTER



アロハセンターの陽気なテクニシャンと

アロハセンターの前で、'88.9ハワイツアー参加の皆様と

■旅行代金(予定)千歳発着

¥249,000 お1人様

- 一流ホテルの海の見える部屋に宿泊いただけます。
- 添乗員が同行します。
- 朝食5回、昼食3回、夕食2回、日本航空等の一流航空会社を利用。

■出発予定日／平成2年6月15日(金)

■募集人員／申込み先着40名様
(最少催行人員25名)

ご旅行料金に含まれないもの

旅行代金には透析料金は含まれません。
現地にてドルにてお支払いいただけます。

- 1 回透析費用**260ドル**、旅行中
- 2 回予定しています。計**520ドル**

■スケジュール(全日程7日間)

1	日	1990年 6月15日	千歳 発 成田 着 全 ホノルル着 15:30 16:55	JL262 JL071 専用バス	ご集合：千歳空港1階ロビー 千歳空港より、国内線にて成田空港へ 着後、特別自家用車にて休息 別荘に到着後、空港ホテルへ
2	日	6月16日	成田 発 ホノルル 着 15:30 16:00	JL071 専用バス	特別乗車券 成田発、専用バスにて、ホノルル到着後 ホテルにて、昼食後、自由行動 夜は「ニール・アーボン」までご用意致します
3	日	6月17日	ホノルル 発 ホノルル 着 15:30 16:00	専用バス	●朝食は「ニール・アーボン」にて各自お召し上がりいただけます 終日：自由行動 ●透析センターへ行かれる方 ●透析センターへ専用バスにてご案内致します ●透析開始(夕食、透析センターにて) ●透析センターより専用バスにて、ホテルへ
4	日	6月18日	ホノルル 発 ホノルル 着 15:30 16:00	専用バス	●朝食は「ニール・アーボン」にて各自お召し上がりいただけます 終日：自由行動 ●透析センターへ行かれる方 ●透析センターへ専用バスにてご案内致します ●透析開始(夕食、透析センターにて) ●透析センターより専用バスにて、ホテルへ
5	日	6月19日	ホノルル 発 ホノルル 着 15:30 16:00	専用バス	●朝食は「ニール・アーボン」にて各自お召し上がりいただけます 終日：自由行動 ●透析センターへ行かれる方 ●透析センターへ専用バスにてご案内致します ●透析開始(夕食、透析センターにて) ●透析センターより専用バスにて、ホテルへ
6	日	6月20日	ホノルル 発 ホノルル 着 11:00 11:01	JL071	●朝食は「ニール・アーボン」にて各自お召し上がりいただけます ホテルより、空港へ ホノルルより空港帰りの途中に 昼食を喫食 成田帰国後、国内線に乗り換え
7	日	6月21日	成田 発 成田 着 千歳 着 14:50 17:55 19:25	JL265	千歳へ、千歳空港解散。

※本誌「おもい得ない」事情でスケジュールに多少の変更が生じる場合があります。

スペシャル
メディカル
サービス

★千歳空港より、透
析治療に精通してい
るベテラン看護婦が
同行致します。

★ホノルルにて透析
の際は日本よりの専
門医師も治療に当り
ます。

★ご家族の方も参加
いただけるようゆっ
くり、充実、安心の
日程です。

後援：北海道腎臓病患者連絡協議会、日本航空、JALPAK、INTERCONTINENTAL MEDICAL SERVICES, INC.

お問い合わせ・お申し込み・資料請求先

主催：IATA (国際航空運送協会) 公認・JATA 日本旅行業協会 会員・運輸大臣登録一般旅行業第260号

☎011-261-8455
☎011-221-8219

牧野航空旅行

札幌市中央区南1条西5丁目日住金札幌ビル2F ☎011-221-8211代

担当：丹羽、薫谷

※旅行条件など、詳しい内容は平成2年3月中旬発表致します。

速報

JR割引き 長年の運動実る

江藤運輸大臣は、11月14日の記者会見で、内部障害者のJR運賃割引を私鉄、航空機も含めて、来年2月から実施すると発表しました。長年の運動がついに実現しました。

「内部障害者」の運賃 割引、来年二月から

鉄道・航空

江藤運輸相は十四日の記者会見で、心臓や腎臓などの障害を持つ、いわゆる「内部障害者」について、JRや私鉄、航空運賃の割引を来年二月から実施すると発表した。肢体不自由者など「外部障害者」に対しては、すでに割引を実施しており、「内部障害者」についても、同じ割引率を適

用する。割引は、障害が重く介護する人が必要な人（第一種）と、一人で乗れる人（第二種）に分けて適用。第一種は本人と介護者、第二種は本人だけが割引になる。対象者は約二十九万人。割引率は、JRとほとんどの私鉄、営団地下鉄が百キロを超える場合（乗り継ぐ場合も含む）に限って乗車券と急行券の五〇%、航空運賃が二五%。西武鉄道は五〇キロを超える場合と制限が緩く、西日本鉄道は距離制限なし、となっている。新幹線の特急料金は割引の対象にはならない。なお、バス会社はすでに内部障害者割引を実施している。

JR各社や私鉄、航空会社の了解を得ており、各社の値下げ申請が出しだい認可する。その後、障害者手帳に第一種、第二種の別を記入する作業があるため、実施は来年二月になる。この割引制度は「全国心臓病の子供を守る会」など、内部障害者団体

が要請していた。しかし、精神薄弱の人（約三十三万人）や難病患者（約十六万人）の割引適用は、「どの程度の障害まで適用範囲とするか明確でない」（江藤運輸相）として、見送られた。

今回の割引による各社の年間減収額は、JRの九億円など合わせて十二億円。江藤運輸相は「本来は、費用負担を民間にたよるのではなく、国の社会福祉政策として実施すべきだ。距離制限の撤廃や割引対象者の拡大も含め、今後は厚生省と話し合いたい」としている。

平成元年十一月十四日

（朝日新聞より）

内部障害者の運賃割引

来年二月から実施

JR、航空各社が申請

JR北海道などJR旅客六社、日本航空など航空六社、大手私鉄十五社（営団地下鉄含む）は六日、心臓病や腎臓（じんぞう）病などを持つ内部障害者（身体障害者手帳所有者）に対する運賃割引の実施を運輸省、関係運輸局に申請した。

目や手足が不自由などの外部身体障害者に限られていた割引制度の対

象を内部障害者にも広げる措置で、同省は二十日にもスピード認可し、手帳の書き換えや周知期間を考慮して来年二月一日から実施する。

申請によると、JR各社と私鉄の場合、第一種（重度）障害者が介護者と乗車する場合、本人と介護者一人の普通運賃、急行料金、定期券、回数券を各五〇%割り引く。また第一種と第二種（軽度）の障害者が単独で百キロ以上乗車する場合には、普通運賃の五〇%を割り引く。私鉄、JR間などの乗り継ぎで合計百一以上になる場合も同じ。

航空各社の申請によると、国内線に限り、運賃、ジェット料金の二五%を割り引く。第一種障害者に介護人が付き添う場合、介護人一人に限り同様の割引を適用する。

これらの割引の対象となる障害は心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸または小腸機能障害者。

厚生省の推計によると、外部障害者は二百二十万人に対し、内部障害者は二十九万人（いずれも身障者手帳の交付を受けていない人を含む）。運輸省によると、今回の措置に必要な原資は年間約十二億円で、各事業者が負担する。

平成元年十二月七日

（北海道新聞より）

「エリスロポエチン」

来春にも認可？

貧血改善薬として多くの患者・医療関係者の期待を集めているエリスロポエチンはこれまで、各製造メーカーにおいて治験が行なわれ二社は今春、厚生省に新薬と保険認可の承認申請をしました。このほど、全腎協が入手した情報(未確認ですが)によると、すでに中央薬事審議会のうち調査会の審議が終わり、今後の日程として特別部会が十一月、常任部会は来年一月に開催され、審議を受けることとなります(中央薬事審議会の仕組みは会報『全腎協』九九号・特集をご参照ください)。常任部会で新薬として承認されると薬価収載(保険適用)の手続きが行なわれますが、薬価収載の許可がおりるまで通常三〜四か月程度かかりますので、早ければ来春にも医療保険の対象になるのではないかといいうことでした。

(全腎協事務局ニュース)
No.10九号より

札幌「東区健康祭り」で

腎バンク八五名の登録者

九月二四日、東区の伏古公園で「東区健康祭り」が開かれ、約四、五〇〇人が参加しました。

同祭りは、地域の団体自治会、老人クラブ、勤医協病院、看護学校、開業医など十数団体が実行委員会を作り、医療従事者と地域の人達が交流を深め、「平和で健康な街づくり」をと始まり、今回で六回目を迎えました。

今回も勤医協で透析を受けている患者でつくる勤医協腎臓友の会と医療従事者が協力して、腎バンク登録を呼びかけたところ、地域の人や医者、看護婦、保母さんなど八五名もの人が、登録してくれました。

十月十二日勤医協丘珠病院の守屋さんが、登録カード八五枚を持って、北海道腎臓バンクを訪れました。

勤医協腎臓友の会ならびにご協力いただきました皆さまに、心より感謝いたします。

ありがとうございます。



clinical foods

森永低リンミルクL・P・K

— 使いやすく、飲みやすいミルク —

腎機能に障害のある方(特に透析患者の方)に適しています。

(低リン、低カリウム、良質な乳蛋白質、
カルシウム、鉄増強)



●お問い合わせは、森永乳業(株)札幌支社栄養食品販売課
TEL 011-865-2821

※ご使用は専門医のご指導に従ってください。

事務局から

☆投稿募集☆

機関紙「どうじん」への投稿を募集しています。どんな事でも良いです。

透析の事、日常生活の事、趣味、特技、旅行、仕事、その他、イラストなども募集しています。

患者さん、ご家族の方、スタッフの方など、どしどしお寄せ下さい!!

また、「どうじん」を読んでの感想、意見、要望などもごさいましたら、お寄せ下さい。

特に「どうじん」にこんな事を載せてほしい、こんな事を知りたいなどのご意見、お待ちしております。

☆第二十回全腎協総会へ

参加してみませんか☆

道腎協では、来年も国内旅行の企画をしております。今回は、第二十回の全腎協総会（松山）にス

ケジュールを合わせて、四国の旅となっております。（P27参照）
あなたも、四国へ行ってみませんか？

皆さんのご参加お待ちしております。

☆年末・年始の休業日

について☆

十二月二十九日（金）から、一月四日（木）まで事務局は年末年始の休業となります。

なお一月五日（金）からは平常通りとなります。



◆編集後記◆

○寒さがきびしくなってきました。みなさん、身体には十分気を付けてください。

今年も何事もなく過ごせた事に感謝しています。

鈴木

○今年には雪が降るのがおそく何かイヤな予感？

その予想が当り、ドカ雪にまわれている今日この頃です。皆さん、カゼが猛威をふるっています。

K・N

○最近カゼが流行しています。私達患者には最も迷惑な病気です。

常に健康管理に注意し平成二年を恙がなく迎えましょう。

◎

○今年もなんとなく終わってし

まいりました。

まだやり残した事があるような、ないような……

来年もまたよろしくお願いたします。

皆様よいお年を

あゆみ

○流行に敏感な（？）私は先日カゼをひいて二日ばかり寝込んでしまいました。

皆様はいかがですか？

来年も、より内容の充実した「どうじん」をめざし編集委員一同頑張りますので皆様よろしくお願い致します。

村本

○JR・航空運賃割引がやっと我々内部障害者にも適用される事が決定されました。長年の患者会活動の成果の表れです。

私事です。透析生活も十年を越え、体の関節やあちこちに痛みがでてきます。皆様も自己管理を十分に頑張り下さい。

堀井

第3回 道腎協企画国内旅行

温暖の地 四国の旅

“全国総会(松山)と四国一周旅行”

1990年5月出発

5泊6日 **¥168,000**

期日	行程	宿泊地
5月17日 (木)	札幌——千歳空港 <small>ANA 772</small> ——大阪空港——須磨港——大磯港 11:30頃 13:20頃 ——淡路島——大鳴門橋——鳴門公園——徳島	徳島
5月18日 (金)	徳島——眉山公園——千羽海岸——南阿波サンライン—— 室戸岬(竜河洞・珍鳥センター)——高知——病院——旅館	高知
5月19日 (土)	高知——高知市内観光(はりまや橋・桂浜・闘犬センター・坂本龍馬の銅像) ——引地橋——三坂峠——道後温泉	道後温泉
5月20日 (日)	道後温泉——松山——大会参加——病院——ホテル	松山
5月21日 (月)	松山——松山市内観光(子規堂・石毛寺・松山城他)——新居浜—— 琴弾公園——琴平(金刀比羅宮参拝)——瀬戸大橋——高松	高松
5月22日 (火)	高松——高松市内観光(栗林公園)——高松空港 <small>ANA 468</small> ——大阪空港 12:00頃 14:20頃 ——千歳空港——札幌 16:05頃	

- 受付… 3月末迄 定員(30名)+家族数名で締切
1室3~4名(2名でご希望の方は別途料金となります。)

- 申込詳細は… 道腎協 ☎ (011)747-0217
FAX (011)747-0217

■ 主催

日通旅行

アリコの

「OK保険」

《スペシャルプラン》
弱体者特別終身保険

今までの生命保険にご契約できない方のための新しい保険 今、アリコから登場

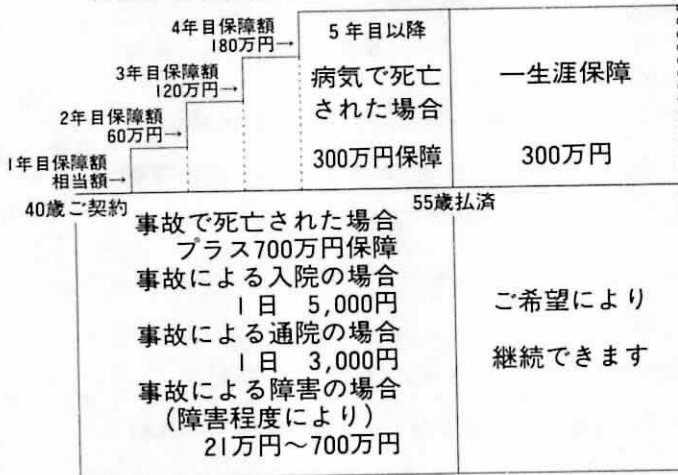
透析患者のための保険!!

— キャンペーン実施中 —

※透析導入となり全く生命保険に加入できない方に。
※入院歴のあるかたでも、退院後6か月以上であればご加入になれます。
※ご契約に際して、医師の診査は有りません(無審査)。

さらに 障害時 1,000万円保障

〈弱体者終身保険+普通傷害保険〉



保険料例

保険料払込期間 15年
(内傷害保険料3,678円)

年齢	合計保険
20歳	7,290円
30歳	8,850円
40歳	11,340円
50歳	15,300円
60歳	21,630円

*上記保険料は職業等級1級(事務職等)の方の場合です。御職業によっては、保険料が変わる場合がありますので、担当者にご相談ください。
*上記年齢以外の方は担当者にお申し付けください。

◆ 募集窓口 ◆

Alico アリコ ジャパン 札幌エージェンシー

担当 小村 渡辺 山城

提携 日本火災代理店 池田損害保険事務所

〒060 札幌市中央区大通西4丁目 新大通ビル10F

Tel 011-222-3271

◇ お問い合わせ ◇

北海道腎臓病患者連絡協議会

〒001 札幌市北区北35条西5丁目1-10A M S 南麻生308号 Tel 011-747-0217